

天ぷら油のキャンドル

～ 天ぷら油（廃油）でろうそくをつくろう！ ～



領域 つくる

活動 自然物クラフト



<準備するもの>

天ぷら油（廃油）・廃油処理剤・キャンドルカラー（市販のもの）・ろうそく芯（凧糸）・紙コップ（ろうそくの型になる容器）・竹串・アロマオイル（天然香料）
フライパン（片手鍋）・ガスコンロ・ホーローの容器・はさみ・小刀・セロテープ・作業用手袋

※キャンドルカラーは、ろうそく専用の染料です。



<作り方①>

80℃ぐらいに温めた天ぷら油（廃油）にキャンドルカラー（染料）を加え、色をつけます。

※加えるキャンドルカラーの量がポイント！
あまり濃くせず、淡い色の方が光が透けるのできれいだと思いますよ！



<作り方②>

廃油処理剤を加え、よくかき混ぜる。
※加える量は、規定の1.5～2倍を目安に！
油が少し冷めてから、アロマオイル等の天然香料を数滴いれる。

※「アロマキャンドル」ではなく、廃油の匂いを和らげるために入れます。入れすぎ注意！



<作り方③>

ろうそく芯（凧糸）を垂らした紙コップ（ろうそくの型）に油を流し込む。

※ろうそく芯は、ろうそくの中心に真っ直ぐに垂らしましょう！

※何色かの層状のろうそくを作りたい場合は、1層ずつ固めながら流し込んでいきます。



<作り方④>

完全に固まったら、紙コップから取り出す。ろうそくの形を整え、芯の長さを調整すれば、できあがり！

※固まってからでも、小刀などで簡単に削れます。いろいろな形にするのもおもしろい！（注意！）火をつけた時の安全性を考えてね。



<さらにひと工夫！>

①ガラス瓶に流し込めば、これも素敵なキャンドルになりますよ。

②ろうそくの中にドングリや貝殻など自然の中で見つけた宝物を入れると、自分だけの秘密のろうそくになるね。

（大きなもの、腐ってしまうも、それから火に弱いものはダメだけどね…）

☆固まってしまった油は、熱を加えるとすぐに溶ける（液状になる）ので、固まりかけたからといって慌てて流し込まなくても大丈夫です。…くれぐれも火傷(やけど)などをしないようにね！それから火の用心にも気をつけてください。